

快適 自然環境と都市環境とが調和した住みやすいまちづくり

(4) 快適で魅力ある都市空間の形成

⑫ 利便性・機能性の高い道路網と公共交通体系を構築する



現状と課題

- ◆国道2号や主要地方道など市内幹線道路のネットワークの向上による、さらなる人・モノの円滑な流れと災害時の代替性の確保が求められています。
- ◆国道250号高取峠は、急カーブや急こう配の箇所があり、交通事故が多く、トンネル化等による安全性向上が求められています。
- ◆都市計画道路の整備促進が求められています。また、交通需要の変化に伴う都市計画道路の見直し検討結果に基づいた適切な事業推進が求められています。
- ◆健康増進やレジャーなど身近な交通手段としての自転車の活用が必要です。
- ◆高度経済成長期に造られた橋梁など多くの重要な道路施設の老朽化に伴う適切な維持管理が必要です。
- ◆児童を巻き込む痛ましい事故を踏まえた通学路交差点等の安全性向上をはじめとした、誰もが安全に通行できる道路環境などの整備が求められています。
- ◆公共交通においては、通勤通学者や交通弱者の移動手段の確保など、誰もが安心して暮らし続けるために必要な利便性が求められています。

施策の方針

国・県に対し、国道2号へのアクセス向上など、国道・県道の整備促進を要請し、市内外の交流の活性化や市内交通の円滑化を図るため、機能的で有機的な幹線道路、生活道路を整備することにより、地域の産業経済活動を支えるとともに、市民生活の利便性、安全性の向上を図ります。

また、安全で快適な道路環境を維持するため、橋梁等道路施設点検や点検結果に基づく適切な修繕を行い施設の長寿命化※1を図ります。

市民・交通事業者・行政が連携し、市民の利便性の向上と地域の実情に応じた持続可能な公共交通の充実を図ります。



市内循環バス「ゆらのすけ」

※1長寿命化…消耗品やインフラ等の耐久性を向上させ、改修や補修等により施設が長持ちすること。